



「農薬に関するパネル展」を開催しました！

沖縄総合事務局1階の「消費者の部屋」において、令和7年7月7日から11日までの間、「農薬に関するパネル展」を開催しました。毎年、6月から8月までの3ヶ月間を「農薬危害防止運動」とし、都道府県等の関係機関と連携して農薬の安全かつ適正な使用、使用中の事故防止、環境に配慮した農薬の使用等の推進を図っております。令和7年度の運動のテーマを「使用前、周囲よく見てラベル見て」とし、農薬ラベルの表示事項に従った使用により、事故や被害等の防止に繋がること、周辺住民や農作物等への飛散防止対策などについて紹介しました。

また、同パネル展で令和6年3月に沖縄県北部で初めて確認されたセグロウリミバエの緊急防除に関する国や県、市町村、関係団体の対応等についても紹介し、セグロウリミバエのまん延防止のため、家庭菜園でのウリ科野菜の栽培を控えるようパネル展示を通して協力を呼びかけました。

当局「消費者の部屋」では、食の安全・安心に関わる取組や情報などについて引き続き紹介してまいります。



令和7年度
重点指導項目啓発ポスター



パネル展開催の様子

農薬に関することはこちら
「農林水産省HP 農薬コーナー」



お問合せ先

農林水産部 消費・安全課
☎098-866-1672



6月は「食育月間」です。 いちやれば食育パネル展を開催しました！

国は、食育基本法に基づく第4次食育推進基本計画における重点事項として「生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進」を掲げ、「朝食又は夕食を家族と一緒に食べる」「共食（きょうしよく）」の回数を増やすこと（※）を目標の一つに設定しています。

共食は、食の楽しさを実感するだけでなく、食や生活に関する基礎を伝え、習得する機会にもなります。特に、家庭において、子供とその保護者が一緒になって早寝早起きを行うことや朝食をとることなどは、基本的な生活習慣づくりへの意識を高め、子供が生涯にわたって健全な心身を培い豊かな人間性を育んでいく上で重要です。

このため、沖縄総合事務局では6月の食育月間において、共食について考えるきっかけとなるよう、沖縄県立図書館ほか2カ所で行い、いちやれば食育パネル展を開催し、「みんなで食べたらおいしいね」をテーマに、共食のメリット等を紹介しました。

※令和2年度時点の現状値9.6回/週

令和7年度の目標値11回以上/週



～いちやれば食育パネル展～

みんなで食べたらおいしいね！



沖縄県立図書館（6月4日～9日）



沖縄市立図書館（6月13日～25日）

お問合せ先

農林水産部 食料産業課
☎098-866-1673